

CONTENTS

- 1. 滞在人口等分析ツールについて
- 2. 滞在人口等分析ツールの活用事例

発行

豊橋市 未来創生戦略室
TEL:0532-51-2180



1 滞在人口等分析ツールについて

コロナ禍以降、駅前の通行人口などの人流データをニュースなどで目にした方も多いと思いますが、ビッグデータ分析を基にした人流データがさまざまな場面で活用されています。

本市では、施設等の滞在人口や人流等を分析することで、事業の立案や効果検証などに活用することを目的として、令和3年度から携帯電話端末の位置情報を活用した滞在人口等分析ツールを導入しました。このツールは、指定したエリアでの通行人口や滞在人口の人数、性別、年代、居住地を時間帯や平日休日の区別で抽出することができます。

今回の政策研究レターでは、未来創生戦略室での分析事例を紹介し、今後の活用、施策への反映の可能性についてまとめます。

2 滞在人口等分析ツールの活用事例



分析事例①：豊橋駅前の人出

緊急事態宣言解除前後の豊橋駅前（図1）の滞在人口を比較しました。分析概要および分析結果は以下のとおりです（図2～4）。

【分析概要】

期間	①5/17～23：宣言中で感染者の多かった週 ②6/14～20：宣言最終週 ③6/21～27：宣言解除後の翌週 ※いずれも2021年
対象者	60分以上滞在者（居住者、勤務者を除く）

【分析結果】

- ・緊急事態宣言解除後は、人出が増加
- ・緊急事態宣言解除後も、21時以降の人出はその他の時間帯ほど増加していない

愛知県では、2021年5月12日から6月20日までの期間、緊急事態宣言が発令されました。緊急事態宣言解除後に滞在人口が増加していることから、宣言期間中の人流は一定抑制されていたと推測できます。時間帯別で見ると、21時以降の深夜時間帯は、宣言解除後も人出はそこまで増えていないため、引き続き感染警戒されていると推測できます。



図1：分析範囲（豊橋駅前）

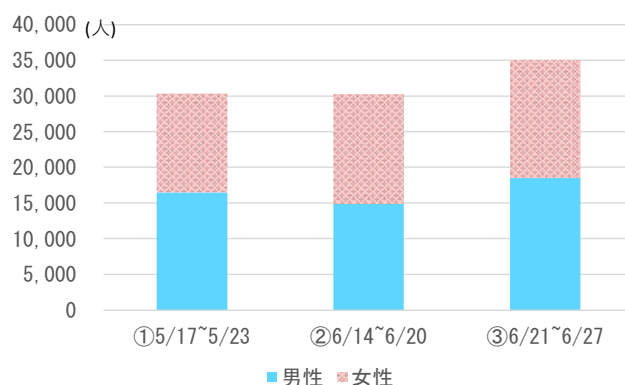


図2：全滞在者数

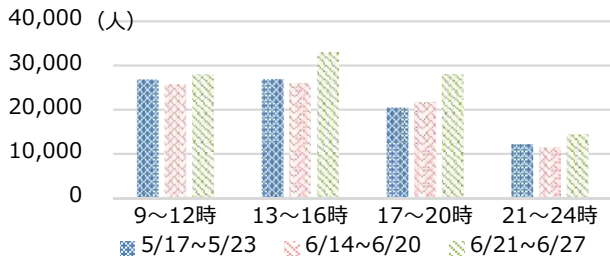


図3：時間帯別滞在者数（平日）

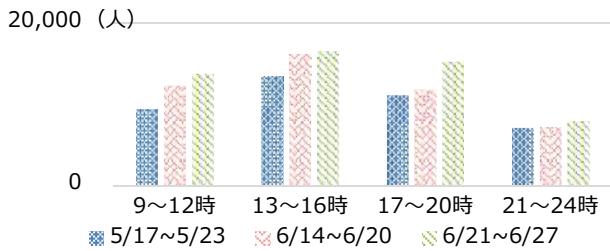


図4：時間帯別滞在者数（祝休日）



分析事例②：ロケ撮影日の通行人口

広小路通り（図5）でロケ撮影が行われた日の通行人口を平常時と比較しました。分析概要および分析結果は以下のとおりです（図6・7）。

【分析概要】

期 間	ロケ日（6/29・30、7/5・6） 平常日（6/20～7/9の上記を除く平日） ※全て2021年
対象者	徒歩通行者

【分析結果】

- ・ロケ日は、通行人口が約1.5倍に増加
- ・特に女性の通行人口が増加
- ・20代と40代が主に増加

ロケ日の通行人口が増加しており、ロケの実施が人流に大きな影響を与えていると言えます。年代別の傾向については、出演するタレントやドラマの内容によっても影響があると推測されます。



図5：分析範囲（広小路通り）

図6：時間帯別滞在者数（祝休日）

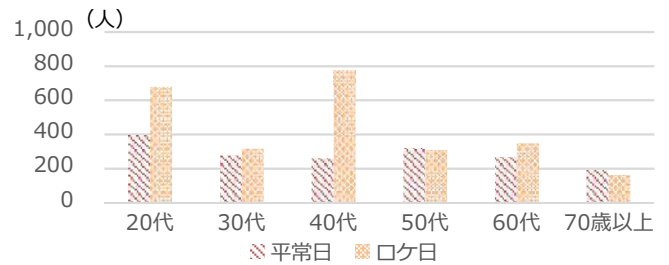
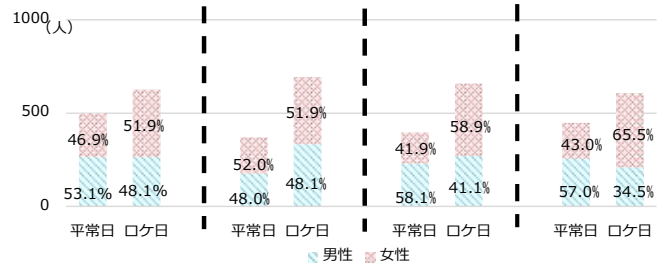


図7：時間帯別滞在者数（祝休日）



分析事例③：近隣道の駅の滞在者（居住地）

道の駅の滞在者の居住地について抽出し、道の駅とよはしとその他の近隣道の駅とを比較しました。分析概要および分析結果は以下のとおりです（表1、図8）

【分析概要】

期 間	2020年8月～2021年7月
対象者	施設に30分以上滞在した者
抽出した道の駅	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅とよはし（豊橋市） ・田原めっくんはうす（田原市） ・あかばねロコステーション（田原市） ・藤川宿（岡崎市） ・もっくる新城（新城市） ・潮見坂（湖西市）

【分析結果】

- ・「とよはし」「めっくんはうす」「あかばね」「藤川宿」は地元居住来訪者の割合が高く、なかでも「とよはし」が最も高い。
- ・「もっくる」と「潮見坂」は地元以外の利用が多い。

「もっくる」と「潮見坂」で自市以外の利用者が多いのは、市境に近いという立地条件や、第二東名や国道1号線、23号線（名豊道路）など、周辺の「道」によって人の交流が促進されていることが要因の1つと考えられます。

「とよはし」では豊橋市を除くと、愛知県内よりも浜松市の利用者が多くっており、静岡県遠州地域をターゲットにしたサービス提供に商機がある可能性があります。

表1：施設別・利用者居住地 TOP10

区分	とよはし			田原めっくんはうす		
	市区町村名	獲得比率	距離	市区町村名	獲得比率	距離
TOP10						
1	豊橋市	41.8%	6.7	田原市	34.6%	2.1
2	浜松市(全区)	11.0%	28.3	豊橋市	14.9%	15.5
3	名古屋市(全区)	4.7%	69.6	名古屋市(全区)	8.0%	65
4	豊川市	4.6%	17.8	豊川市	6.0%	21.7
5	湖西市	3.5%	10.8	岡崎市	3.8%	32.2
6	田原市	3.2%	15.6	浜松市(全区)	3.5%	41.7
7	岡崎市	2.7%	31.9	豊田市	2.3%	53.3
8	蒲郡市	2.2%	19.5	西尾市	2.0%	29.1
9	西尾市	1.6%	37.7	蒲郡市	1.8%	17.4
10	豊田市	1.3%	50.9	安城市	1.3%	37.3
	TOP10の計	76.6%		TOP10の計	78.4%	
区分	あかばねロコステーション			藤川宿		
	市区町村名	獲得比率	距離	市区町村名	獲得比率	距離
TOP10						
1	田原市	24.9%	7.7	岡崎市	30.1%	5.4
2	豊橋市	16.4%	25.1	名古屋市(全区)	8.3%	39.5
3	名古屋市(全区)	8.3%	67	豊川市	5.9%	14.2
4	岡崎市	5.9%	38.7	豊橋市	5.8%	24.3
5	豊川市	5.1%	30.3	浜松市(全区)	4.1%	50.3
6	浜松市(全区)	5.0%	50.5	豊田市	3.7%	25.9
7	豊田市	3.5%	59.9	安城市	3.3%	14.6
8	西尾市	1.9%	29.5	西尾市	3.0%	17.6
9	蒲郡市	1.7%	24.2	蒲郡市	2.7%	11.5
10	春日井市	1.7%	76.2	額田郡幸田町	2.0%	7.5
	TOP10の計	74.4%		TOP10の計	68.8%	
区分	もっくる新城			潮見坂		
	市区町村名	獲得比率	距離	市区町村名	獲得比率	距離
TOP10						
1	豊橋市	12.8%	22	浜松市(全区)	20.2%	21.2
2	名古屋市(全区)	11.4%	63.2	豊橋市	10.8%	12.6
3	新城市	8.6%	3.6	湖西市	8.6%	6.4
4	豊川市	7.6%	18.6	名古屋市(全区)	5.3%	76.3
5	浜松市(全区)	7.2%	26.8	豊川市	3.3%	23.3
6	岡崎市	5.3%	25.6	磐田市	2.9%	34.1
7	豊田市	3.9%	33.7	岡崎市	1.9%	37.6
8	蒲郡市	2.2%	27.3	袋井市	1.4%	41.2
9	西尾市	2.0%	45.4	西尾市	1.3%	45.5
10	安城市	1.9%	43.1	田原市	1.2%	22.8
	TOP10の計	63.0%		TOP10の計	56.9%	

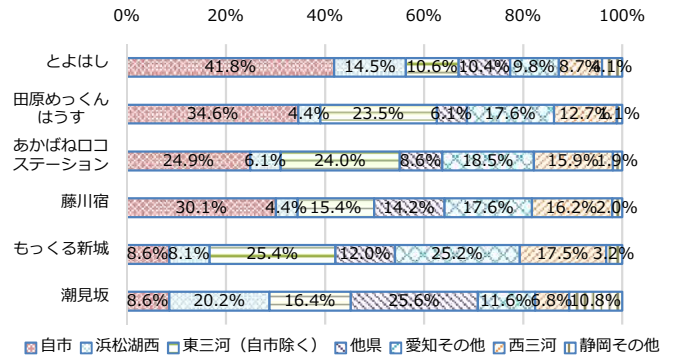


図8：施設別・利用者居住圏域別の状況



分析事例④：道の駅とよはしの滞在者

道の駅とよはしのトマッテや食彩村の営業時間外の滞在者について分析しました。分析概要および分析結果は以下のとおりです（表2・3、図9）

【分析概要】

期間	①2019年8月～2020年7月 ②2020年8月～2021年7月 ※営業時間は8～20時
対象者	施設に3時間以上滞在した者

【分析結果】

- ・営業時間外の滞在者の割合は、女性より男性で高く、年代では10～50代までが高い。
- ・30代の約半分は営業時間外の滞在者。

営業時間外に、「30～50代男性の長時間（深夜帯）滞在者」をターゲットとして新たなサービスの展開ができれば、新たな市場の開拓につながる可能性があります。

表2：全体に占める営業時間帯別の滞在者割合（男女別）

区分	期間①		期間②		営業時間外 増減ポイント
	営業時間	営業時間外	営業時間	営業時間外	
男性	64.2%	35.8%	56.9%	43.1%	7.3
女性	88.8%	12.0%	86.6%	13.4%	1.4
計	75.2%	25.8%	68.2%	31.8%	6.0

表3：全体に占める営業時間帯別の滞在者割合（年代別）

区分	期間①	期間②	増減ポイント
20代	40.2%	31.6%	▲ 8.5
30代	31.8%	50.4%	18.6
40代	28.1%	38.1%	10.0
50代	33.1%	40.0%	6.9
60代	17.3%	18.0%	0.7
70代以上	14.1%	8.0%	▲ 6.1
計	25.8%	31.8%	6.0

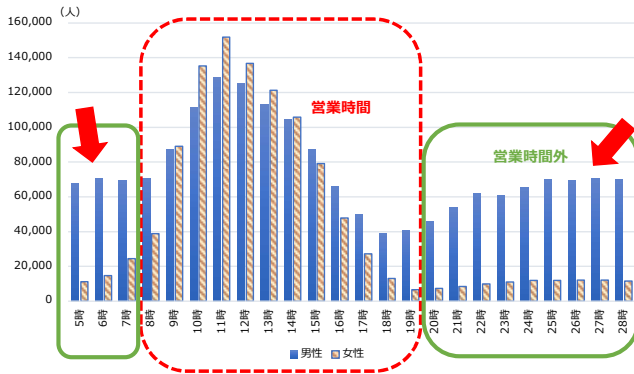


図9：時間帯別滞在者(期間②)



分析事例の紹介⑤：豊橋駅と大都市との往来

豊橋駅と品川駅、豊橋駅と新大阪駅に、それぞれ同日に滞在した者の分析をしました。分析概要および分析結果は以下のとおりです（図10・11）

【分析概要】

範囲	豊橋駅、品川駅、新大阪駅構内
期間	2020、2021、2022年の1/1～2/28

【分析結果】

- 品川駅、新大阪駅ともに、2021年では、2020年と比較し3割程度まで減少。
- 2022年では、2020年と比較し品川駅は7割近く、新大阪駅は5割程度まで回復。

2021年は期間の大部分が緊急事態宣言発令中ということもあり大きく落ち込んでいますが、2022年は2021年よりも回復しており、まん延防止措置であったこと、多くの人のワクチン接種2回が終了していたことが影響したと考えられます。

※参考（各期間の新型コロナウイルスに関する状況）

2020年：日本で本格的に感染拡大する直前

2021年：緊急事態宣言が以下の期間で発令

- 東京都（1月8日～3月21日）
- 愛知県、大阪府（1月13日～2月28日）

2022年：まん延防止等重点措置が以下の期間で発令

- 愛知県、東京都（1月19日～）
- 大阪府（1月25日～）

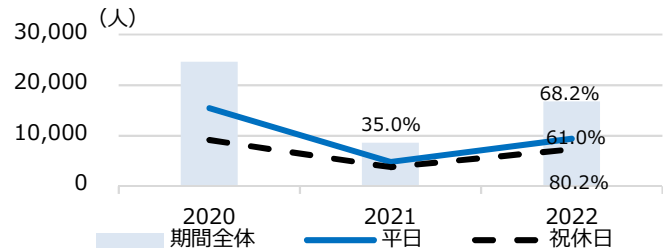


図10：品川駅（豊橋駅との同日滞在者）

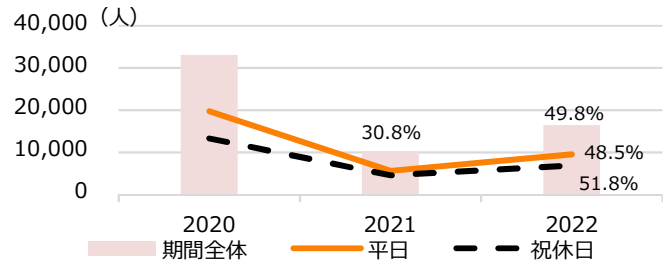


図11：新大阪駅（豊橋駅との同日滞在者）

注：図10・11の%表記は、2020年との比較です

3 おわりに

滞在人口等分析ツールで分析した数値は、携帯電話端末利用者から推測した推計値であることから、必ずしも実数と合致しているとは言い切れませんが、これまで数値化することが困難であった指標やその傾向を明らかにし、数値として把握できる可能性があります。

引き続きこの滞在人口等分析ツールの活用を始め、さまざまなデータを調査・分析することにより、施策の立案や評価等に活用し、効果的な事業の実施へとつなげていくことが重要です。

（未来創生戦略室）

※本レターに掲載している表およびグラフのデータの出典は以下のとおりです。

データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル

「KDDI Location Analyzer」

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。